

三. 寺沢忠高知行目録（折紙）

解説

寛永十年（一六三三）、父広高の跡を継いで肥前唐津藩主となつた寺沢忠高（堅高）が、その二年後、福富善右衛門に普恩寺村一九七石を安堵するとともに、座川内村（現在の佐賀県玄海町）二石六斗を与えたもの。善右衛門の苗字が、この間に岡部から福富に改まれていることがわかる。